

地域の自然を凝縮したEIGHT CROWNSの蜂蜜

# 心を豊かにする甘み

マイナード・プラントさんと菊池拓哉さんは  
言わずと知れた人気ロックバンド

MONKEY MAJIK(モンキーマジック)のメンバーであり、

富谷市民、養蜂家でもある。

なぜ、彼らは蜂蜜をつくるのか？

今回は、養蜂家としての二人にインタビューをした。

## 音楽で出会った二人が 富谷ベースで新たなものづくり

「音楽も蜂蜜も、日常生活において必要不可欠ではないけれど、耳に入れば、一口食べれば、心と体がいつもより豊かに、元気になる」

そう話すのは、MONKEY MAJIKで活動を共にする、マイナード・プラントさんと菊池拓哉さん。富谷市在住であるのは言わずもがな、最近は彼らの養蜂プロジェクトに注目が集まっている。

緑豊かな富谷市内の片隅にあり、雄大な七ツ森の山々を望む場所で、二人は2018年に養蜂をスタート。7群の西洋ミツバチと1群の日本ミツバチからなる、8つの巣箱から始まつたこの活動を、EIGHT CROWNS(エイトクラウンズ)と名付けた。

蜜。加熱と過度な濾過をしないため、天然のビタミンやミネラル、酵素、花粉などの植物栄養素を豊富に含む。巣箱からテーブルへ。極力手を加えず、自然の恵みをそのまま瓶に詰めるのがこだわりだ。

安心安全でおいしいのはもちろん、洗練された形で届けたい。養蜂場での作業以外にも、瓶詰め、発送、パッケージのデザイン、商品撮影、ホームページの編集まで、すべて自分たちの手で行う。「ゼロから全部やりたい。単なるビジネスとしてではなく、良い作品をつくりたい。そこはモンキーらしさが出ているとこだと思う」と、マイナードさん。逆に、音楽活動との違いは、自然相手ゆえにコントロールできない要素が多い点だと、菊池さんは話

音楽も蜂蜜も必要不可欠ではないけれど、日常を豊かに、元気にしてくれる。

## クリエーティブでネーティブ 自分たちらしい養蜂スタイル

蜂蜜は、その土地によって個性があり、時期や咲いている花の種類によつても、味と香りが変わるユニークな食べもの。だから、「全国津々浦々で養蜂をする意味がある」と菊池さんは考える。

マイナードさんも、「地域の蜂蜜を食べられるのは、とても贅沢なことだ」と話す。特に富谷市は、自然を大切に残したまちで植物が多い。「ミツバチが運んでくれたそれらの花蜜を直接口にできるなんて、素晴らしいよね。まるで、花そのものを食べているみたいで感動する」。

EIGHT CROWNSの蜂蜜は、ローハニーと呼ばれる生の蜂

蜜。加熱と過度な濾過をしないため、天然のビタミンやミネラル、酵素、花粉などの植物栄養素を豊富に含む。巣箱からテーブルへ。極力手を加えず、自然の恵みをそのまま瓶に詰めるのがこだわりだ。

安心安全でおいしいのはもちろん、洗練された形で届けたい。養蜂場での作業以外にも、瓶詰め、発送、パッケージのデザイン、商品撮影、ホームページの編集まで、すべて自分たちの手で行う。「ゼロから全部やりたい。単なるビジネスとしてではなく、良い作品をつくりたい。そこはモンキーらしさが出ているとこだと思う」と、マイナードさん。逆に、音楽活動との違いは、自然相手ゆえにコントロールできない要素が多い点だと、菊池さんは話

す。でも、「真剣に過ごした日常が制作の糧になる。おかげで、大変な思いも自然と歌にできている」と、良い相乗効果が生まれているようだ。

バンドとしては、7月で結成20周年を迎えた。今も変わらず、メンバー全員が宮城県に住んでいる。なぜ東京に行かないのとよく言われるが、「宮城が好きだから。この20年振り返つてみて改めて、宮城にいた良かったと思う」。マイナードさんはしみじみそう言うと、菊池さんも大きく頷いた。

地元にいながらも、最先端の格好良い音楽をグローバルに発信し続けている彼らは、今新たに、ローカルだからできる蜂蜜づくりを楽しんでいた。人生における本当の豊かさ、甘やかさを探集している。

きつかけは、マイナードさんの少年時代に遡る。カナダで生まれ育ち、幼い頃から伯父の養蜂場を手伝っていたマイナードさん。何万匹もの小さな命を育てながら、ミツバチによる受粉で農作物が育ち、人間がそれを食べているのだという自然の営みと、生き物の存在意義を学んだ。

ミツバチからのおすそわけとしてもらう生の蜂蜜はとてもおいしいくて、作業自体も楽しかった。「辛いのは、刺されたときくらいかな」とマイナードさんは少年のような笑みを浮かべる。

マイナード少年を夢中にした養蜂は、いつしか人生の大きな夢になつた。「養蜂をやりたいと、マイナードは出会つた頃からずっとそう言つていた」と菊池さん。育つた環境は違えど、杜の都である仙台市出身の菊池さんもまた、マイナード

さんから話を聞くたび、養蜂に心惹かれるものがあつたといふ。

「来年やろう」。口火を切つたのは菊池さんだつた。2017年10月、二人がゲスト出演した、とみや

国際スイーツ博覧会のバックス

テージでの出来事。「僕一人だったら、あと20年はただやりたいって

言い続けていただけだったと思

う」とマイナードさん。菊池さんに尻を叩かれるように、長年の夢に着手した。

富谷市はブルーベリーを筆頭に

果物の生産が盛んで、菓子店が多く

点在するスイーツのまちだ。市役所

の屋上では近年、養蜂にも取り組ん

でいる。そういうたバッググラウン

ドも一人を後押しした。事業の立ち

上げから現在に至るまで、市職員や

地域の人々にはサポートをして

らつていると、感謝する。



蜂が生きるための環境づくりと、オリジナリティある蜂蜜づくりへの钻くを探究心。巣箱のそばに花畠と川までつくった

蜂が生きるための環境づくりと、オリジナリティある蜂蜜づくりへの钻くを探究心。巣箱のそばに花畠と川までつくった



(左)マイナード・プラントさん  
(右)菊池拓哉さん

採れたての蜂蜜を「わが子のようだ」と言って愛でる、マイナードさんと菊池さん。養蜂家としての活動時は、アーティスト名のMaynardとTAXではなく、本名を名乗る。着用しているTシャツ、帽子は、自らデザインしたEIGHT CROWNSのオリジナル商品



とみいす7月号に集録した、市民1,000人の笑顔をまじまじと見つめながら、「この人、昨日見かけなかった?」なんて話す場面も



ワイルドフラワー 110g 1,782円



サフラン&ハニー 110g 2,430円



EIGHT  
CROWNS  
JAPAN



バニラビーンズ&ハニー 110g 2,430円

RAW HONEY

富谷市周辺に咲く野生植物から生まれた百花蜜。ワイルドフラワーは、四季折々にさまざまな花のハーモニーを味わえるのが魅力だ。そこにサフランやバニラビーンズを漬け込んだものは、インフューズドハニーと呼ばれ、海外の流行を取り入れている

SHOP DATA EIGHT CROWNS (エイトクラウンズ)

HP/eightcrows.co.jp

Instagram/eightcrownsjapan

商品はHP内のWEBショップから購入可能